

事業報告書



学校法人 郷学舎

令和7年度事業報告書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

1.法人の概要

(1)基本情報

法人名	学校法人 郷学舎	学校名	アルスコンピュータ専門学校
学校所在地	〒360-0046	創立	昭和63年4月1日
連絡先等	埼玉県熊谷市鎌倉町1-2-4 TEL : 048-526-0919 FAX : 048-525-8119 URL : http://www.arsnet.ac.jp/school	専修学校	昭和63年3月31日認可
		法人	昭和63年3月31日認可
		理事長名	新井 公一
		校長名	荻野 欣男

(2)建学の精神・教育理念・教育方針

本校の教育は全ての学科・コースで『建学の精神』『教育理念』『教育方針』のもと、実施されます。『建学の精神』『教育理念』『教育方針』が本校教育の基盤であり、『ARSの教育体系』としています。

教育理念や教育方針に基づき3ポリシー（『ディプロマポリシー（DP）』『カリキュラムポリシー（CP）』『アドミッションポリシー（AP）』）が策定されています。

建学の精神

「学に郷^{むか}う 郷土の学びや」

～向学の志と実学の精神を養い、社会に貢献する人材を育成する～

教育理念

「習得 Acquirement 信頼 Reliability 誠実 Sincerity」

～高度な知識・技術を有し、誠実で信頼される人材の育成～

※ARSとは「訓練・熟練によって習得される高度な技術・技能」を指したラテン語

教育方針

(1)スペシャリストの養成

職業教育を通じて、実践的な知識・技術・資格を備えたスペシャリストを養成する。

(2)豊かな人間性の育成

キャリア教育を通じて、職業人として必要な責任感、誠実さ、協調性、柔軟性、倫理観を持った人材を育成する。

(3)学校法人の沿革

年月日	事項
	法人設立
昭和 62 年 6 月 8 日	埼玉県私立学校審議会・事業計画承認
昭和 63 年 3 月 23 日	埼玉県私立学校審議会・許可答申
昭和 63 年 3 月 31 日	埼玉県知事認可
昭和 63 年 4 月 1 日	学校法人 郷学舎 設立
	学校設置
昭和 62 年 6 月 8 日	埼玉県私立学校審議会・事業計画承認
昭和 63 年 3 月 23 日	埼玉県私立学校審議会・許可答申
昭和 63 年 3 月 31 日	埼玉県知事認可
昭和 63 年 4 月 1 日	アルスコンピュータ専門学校開設(専修学校専門課程) 初代校長 高橋達治就任
	校舎建設
昭和 62 年 10 月 14 日	起工式
昭和 62 年 12 月 29 日	上棟式
昭和 63 年 3 月 30 日	竣工
平成 18 年 2 月 22 日	熊谷市鎌倉町 125 番地を校地として取得
平成 19 年 9 月 4 日	熊谷市鎌倉町 123 番地の土地・建物取得、校舎として検査完了
平成 22 年 4 月 1 日	熊谷市鎌倉町 125 番地の校地に学生センター建設
平成 24 年 2 月 28 日	熊谷市本町 1-149-1 の土地・建物(研究室)を取得
平成 26 年 2 月 10 日	熊谷市鎌倉町 126 番地を校地として取得
平成 26 年 6 月 2 日	熊谷市鎌倉町 127 番地、128 番地を校地として取得
平成 29 年 3 月 29 日	熊谷市鎌倉町 128 番地の校地に C 棟建設
	開校
昭和 63 年 4 月 12 日	第 1 回入学式挙行
平成 2 年 3 月 15 日	第 1 回卒業式挙行
平成 1 年 4 月 1 日	二代校長 戸川武三就任
平成 7 年 1 月 23 日	工業専門課程情報システム科(2 年課程)、商業実務課程情報経理課(2 年課程)、 OA ビジネス科(2 年課程)の修了者への専門士称号授与承認
平成 11 年 4 月 1 日	情報システム科コース改編／情報経理科コース改編 OA ビジネス科改称・改編
平成 12 年 4 月 1 日	三代校長 持田敬夫就任
平成 14 年 4 月 1 日	IT 総合研究科 IT 総合研究コース新設

平成 15 年 7 月 29 日	目的変更計画埼玉県知事承認（福祉保育科情報保育コース）
平成 16 年 4 月 1 日	同認可
平成 19 年 2 月 22 日	教育・社会福祉専門課程福祉保育科（3 年課程）の修了者への専門士の称号授与承認
平成 20 年 4 月 1 日	四代校長 荻野欣男就任
平成 22 年 4 月 1 日	ビジネス・ベーシック科新設
平成 26 年 3 月 31 日	文部科学省「職業実践専門課程」認定(3 学科 6 コース) ■ 工業専門課程 情報システム科 ■ 商業実務専門課程 情報ビジネス科 ■ 教育・社会福祉専門課程 福祉保育科
平成 28 年 4 月 1 日	ビジネスベーシック科を廃止 情報システム科コース改編 CG デザイナーCAD コースを廃止 情報システム科 プロダクトデザイナー・CAD コース(1 学年定員 20 名)とビジュアルデザイナーコース(1 学年定員 20 名)を新設
平成 29 年 4 月 1 日	国際 IT ビジネス科 国際 IT ビジネスコースを新設(1 学年定員 20 名) 情報ビジネス科コース定員改編 保健・医療ビジネスコース(1 学年定員 20 名)
平成 30 年 1 月 11 日	創立 30 周年記念式典を挙行(熊谷文化創造館さくらめいと)
令和 1 年 9 月 20 日	高等教育の修学支援新制度の対象校に認定
令和 4 年 4 月 1 日	AI システム科 AI エンジニアコースを新設(1 学年定員 20 名) 福祉保育科幼児保育コース募集停止(1 学年 15 名)
令和 5 年 1 月 27 日	工業専門課程 AI システム科(2 年課程)の修了者への専門士の称号授与承認
令和 6 年 3 月 16 日	福祉保育科幼児保育コースを廃止
令和 7 年 4 月 1 日	五代校長 山田典男就任
令和 7 年 4 月 1 日	通信制サポート校 アルス高等学院設置
令和 8 年 4 月 1 日	高度情報デザイン科大学併修コースを新設(1 学年定員 10 名)

(4)設置する学科・コース等

課 程	学 科 名	コ ー ス 名	修業年数	収容定員
工業専門課程	A I シ ス テ ム 科	AI エンジニアコース	2 年	4 0 名
	情 報 シ ス テ ム 科	システム開発コース	2 年	4 0 名
		ゲームクリエイターコース	2 年	4 0 名
		プロダクトデザイナー・CAD コース	2 年	4 0 名
		ビジュアルデザイナー・コース	2 年	4 0 名
商業実務専門 課 程	情 報 ビ ジ ネ ス 科	情報ビジネスコース	2 年	4 0 名
		保健・医療ビジネスコース	2 年	4 0 名
	国 際 I T ビ ジ ネ ス 科	国際 IT ビジネスコース	1 年	2 0 名
工業専門課程	I T 総 合 研 究 科	IT 総合研究コース	1 年	1 0 名

収容定員充足率（毎年度 5 月 1 日現在）

年度	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
定員充足率	98.6%	86.8%	88.3%	104%	112%	106%

(5) 役員の概要(R7 年 5 月 1 日時点)

< 理事数 6 名 >

役職	氏名	学内・学外の区分	任期
理事長	新井 公一	学内	令和 11 年度定時評議員会の終了まで
理事・校長	山田 典男	学内	令和 11 年度定時評議員会の終了まで
理事	正田 淳一	学内	令和 11 年度定時評議員会の終了まで
理事	大島 譲二	学外	令和 11 年度定時評議員会の終了まで
理事	久保田 孝子	学内	令和 11 年度定時評議員会の終了まで
理事	山崎 靖広	学外	令和 11 年度定時評議員会の終了まで

< 監事数 2 名 >

役職	氏名	主な現職	任期
監事	田代 嘉昭	公認会計士	令和 13 年度定時評議員会の終了まで
	木村 美知子	特定社会保険労務士	令和 13 年度定時評議員会の終了まで

➤ 役員賠償責任保険加入済

(6) 評議員の概要

< 評議員数 7 名 >

役職	氏名	寄附行為による選任区分	任期
評議員	荻野 欣男	学識経験者	令和 13 年度定時評議員会の終了まで
	山崎 崇史	学識経験者	令和 13 年度定時評議員会の終了まで
	清水 昭裕	卒業生	令和 13 年度定時評議員会の終了まで
	佐藤 実	卒業生	令和 13 年度定時評議員会の終了まで
	隅田 和利	卒業生	令和 13 年度定時評議員会の終了まで
	戸川 千詠子	職員	令和 13 年度定時評議員会の終了まで
	竈原 智恵	職員	令和 13 年度定時評議員会の終了まで

(7)教職員の概要(令和7年4月1日)

区 分	実 員		
	専 任	専任以外	合 計
校 長	1		1
教 頭 職	1		1
教 員	15		15
講 師		33	33
助 手			0
事 務 長			0
事 務 職 員	9		9
その他職員		4	4
合 計	26	37	63

2.事業の概要

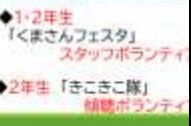
事業基本方針を<パラダイムシフトで成長する学校へ>とし、学校運営を行ってまいりました。今年度は現中期計画の最終年度であり、特に注力して取り組みたい事業を重点事業と定め、取り組みを強化いたしました。本校初となる4年制学科の新設(大学併修コース)やサポート校事業など、これまで数年間にわたり準備してきたものがスタートした他、高専連携の拡大、学内業務のDX推進が更に進んだ年となりました。高等教育を取り巻く環境変化から、『変えるリスク』より『変わらないリスク』の方が高い時代に突入した事を共通認識とし、業務の種類、大小問わず、積極的な取り組みを行っています。

次年度からは新たな中期計画のもと、様々な方面との連携事業を進化させ、成長が実感できる学校の推進をはかって参ります。

(1)主な教育活動

企業・医療機関・業界団体等、皆様のご支援・ご協力により様々な産学官連携が実施され、より実践的な学びとする事が出来ました。

AI エンジニアコース	システム開発コース
AIエンジニアコース <産学官連携の実施> ◆ソホビービー株式会社 AIシステムの開発の検証についてアドバイス 成果発表を実施し、評価を頂いた <卒業研究> ◆野菜可食部判定を行なうシステム 「ベジチェッカー」を開発 画像認識モデルを1から作成 	システム開発コース <産学官連携の実施> ◆株式会社クレスコ・ジェイキューブ 卒業研究講評会(実機のレビュー) (アドバイス) ・ユーザ目線の開発 ・従来のシステムとの差別化 <検定実績> 5年ぶりとなる留学生の基本情報技術者試験合格(151人合格) 

ゲームクリエイターコース ゲームクリエイター コース <産学官連携の実施> ◆国際ゲーム開発者協会日本 <1年生対象> 「面白さ言語化ワークショップ」 ●1年生全員対象 ●既存のゲームの「面白さ」を言語化して説明できるようにするための演習 ●事後復習として、学んだ内容をもとに、企画課題を制作する <コンテストへの応募> ◆ゲームクリエイター甲子園 <2年生対象> ●2年生全員対象 ●学校祭用に制作したゲーム作品・動画・アピール資料を流用して応募する ●7月末に応募後、締め切りの12月まで何度も再提出が可能 ●ゲーム企業も注目しており「スカウト」というシステムがある	プロダクトデザイナー・CAD コース プロダクトデザイナー CAD コース <コンテストへの参加> ◆さいしんコラボ産学官 アイデア創出事業 「開放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉」 奨励賞 2チーム(3+4名) <企業との連携> ◆株式会社ミライコニック様によるBIM連携強化の取り組みを2回実施。 ・6/14(土):オープンキャンパス ・9/29(月):2年生向けBIM作品添削指導  
ビジュアルデザイナーコース ビジュアルデザイナーコース <産学官連携の実施> ◆Love clip(ペットサロン) 販促ツール  ◆くまがや景観フォトコンテスト 「暑いぞSL」  優秀賞 ちらしやWebページ、のぼりを制作。実際に店舗で採用されました。 1年生の前衛からコンテスト参加できます	情報ビジネスコース 情報ビジネスコース <外部コンテストへの積極的な参加> フードグランプリ 優秀企画校 マーケティング部門 熊谷市 データドリブンシンポジウム データ可視化プレゼンテーション KUMAGAYAデータハッカソン  
保健・医療ビジネスコース 保健・医療ビジネスコース <ステップアップ実習・ボランティア活動の継続> ◆体験型実習(1年生8月) ・熊谷市地域子育て拠点施設 「子育てネットくまがや 0・1・2・3歳 くまっぺ広場」 ◆体験型実習(1年生3月) ・高齢者施設 5か所 ◆業務補助型実習(2年生8月) ・病院 8か所 ・診療所 2か所 ・調剤薬局 1か所   ◆1・2年生 「くまさんフェスタ」 スタッフボランティア ◆2年生「きこきこ隊」 継続ボランティア  	国際ITビジネスコース 国際ITビジネスコース <熊谷市国際交流協会主催のイベントへ参加> ◆「日本文化体験」(星保園) ◆外国人による日本語スピーチコンテスト  

(2)主な学生支援活動

高等教育の修学支援新制度をはじめ、日本学生支援機構の奨学金制度を学生が積極的に活用できるよう、きめ細かな説明を行いました。令和7年度は多子世帯向けの奨学金が広がったため人数が増加しています。

(3)在籍管理報告

- 気になる学生については状況を教員間で共有し、後手にならない対応をとっている。
- 学習サポートや交友関係など、これまでのノウハウをもとに対応している。
- 教育的なサポートでは対応困難と判断するケースは、スクールカウンセラー（公認心理師）の協力も得るようにしている。

(4)就職内定報告

就職内定率（令和 7 年度）	就職内定率（令和 6 年度）	就職内定率（令和 5 年度）	就職内定率（令和 4 年度）
99.0%	97.9%	99.2%	99.3%

【令和 7 年度の主な就職先】（一部抜粋）

テクノプロ・ホールディングス株式会社, 株式会社アーベルソフト, PFU IT サービス株式会社, ソホビービー株式会社, 株式会社大宮電化, 株式会社グローバルソフトウェア, 株式会社アルティウスリンク, 株式会社アズコムデータセキュリティ, 株式会社タイセー, 株式会社アイダ設計, 日本情報産業株式会社, 秩父コンクリート工業株式会社, 株式会社日本科学技術研修所, 株式会社ラスコ, 株式会社周設計, 日栄電機株式会社, 株式会社アチピレーションテクノロジー, 株式会社関東ソフトウェア, 株式会社新富士空調会社, 株式会社ポケットキャッチ, ジェムドロップ株式会社, 有限会社山本美創, 田部井建設, 株式会社, 診療印刷株式会社, 武蔵野ユニフォーム, エレクス株式会社, 森乳業株式会社, 株式会社サンエイ, 株式会社カナオカグラフィア, 株式会社クレーマー・ジャパン, 株式会社ステッチ, 株式会社情報化ビジネス, シコク景材関東株式会社, YKK AP 株式会社, 株式会社ベルク, ルートイングループ, 株式会社カスミ, ケーズデンキ, 株式会社ウッディー・コイケ, 株式会社クスリのアオキ, ブックオフコーポレーション株式会社, ジェコー株式会社, ケア 21, 埼玉医科大学グループ, 医療法人本庄福島病院 本庄総合病院, 羽生総合病院, 熊谷外科病院, 深谷中央病院, くぼじまグループ こくさいクリニック, よしおか内科こどもクリニック, 市川医院, サンアイ三愛熊谷病院, 他

- 求人件数は前年より微増。
- 適性試験や面接において学生の質を重視する傾向があった。
- 情報ビジネス、保健・医療ビジネスコースは比較的順調に内定が決まった。

3.財務の概要

●決算の概要

令和 7 年度の事業活動収入計は 344,491,830 円、事業活動支出計は 326,192,178 円、基本金組入前当年度収支差額は 18,299,652 円の収入超過となりました。

基本金組入額は 45,490,002 円で当年度収支差額は△27,190,350 円となりました。

<事業活動収入の部>

教育活動収入計は、3 億 4,430 万円となりました。

(1) 学生生徒等納付金収入

学生数の増加に伴い前年比 2,319 万円増の 2 億 7,982 万円となりました。なお、長期高度人材育成に係わる学生分については受託事業収入に計上しています。

(2) 手数料収入

前年度と比べ 23 万円増加の 219 万円の収入になりました。

(3) 寄付金収入

一般寄付金で 15 万円の収入がありました。これは卒業記念品分の金額になります。

(4) 経常費等の補助金

県の運営費補助金は 772 万円を受給しました。また高等教育修学支援制度による文科省からの補助金は 2,296 万円で前年よりも 1,268 万円増加しています。これは多子世帯を含めた新規受付者が増加したことによります。

(5) 付随事業収入

付随事業収入のうち受託事業収入は職業能力開発センターの受託事業および長期高度人材育成に係わる収入です。前年より 523 万円減少し 2,281 万円になっています。

(6) 雑収入

退職金基金からの資金収入 248 万円が計上されています。

<事業活動支出の部>

教育活動支出計は 3 億 2,100 万円となりました。

(1) 人件費

人件費は 1 億 7,716 万円となっています。今年度より賞与引当金繰入額が追加されています。ここには R8 年 7 月支給予定の賞与の一部が計上されています。

(2) 経費

経費支出は、1 億 4,317 万円となっています。奨学費が前年より 1,357 万円増加しており、これは高等教育修学支援制度の新規受付者が増加した事が主な要因です。

●貸借対照表

<固定資産・流動資産>

固定資産は前年に対し 1505 万円の増加、流動資産は 2,918 万円の減少となっています。

総資産は 8 億 9,574 万円になっています。

<固定負債・流動負債>

固定負債は昨年度に比べ 1,440 万円減少しました。長期借入金も 1,440 万円減少し、計画的に返済ができています。

●総 括

施設の大規模修繕や学内ネットワークシステムの更新など学習環境の更なる充実を進めています。

協力企業様や卒業生との新たな連携体制も構築し、40 周年に向けた具体的な計画も進めて参ります。

以上